

生活環境の整備や社会問題化している少子高齢化問題など、地域におけるさまざまな課題を、市民と行政がそれぞれ役割をともに認識し解決に向けて協力することが、住民自治の充実につながるものであると考えております。

次に、「市民参加のまちづくり」につきまして、市民と行政が相互理解のもと協働によるまちづくりを展開するため、市民が企画する多彩な活動やボランティアなどの育成・支援に努めるとともに、市民が参加しやすいシステムづくりやまちづくり条例の整備などを推進してまいります。また、まちづくり懇話会の開催などにより、きめ細かな市民ニーズの把握に努めるとともに、行政情報を積極的に公開し市民への情報提供を行い、参加しやすい環境づくりを進めてまいります。

## 元気でやさしさあふれた まちづくり — 健康福祉

第二の柱は、「元気でやさしさあふれたまちづくり」でございます。「未来を育む児童福祉の推進」についてですが、急増する学童保育室の入室需要に対応するため、中曽根学童保育室を増築してまいります。また、保育サービスの充実を図るため、公立保育所の三歳児以上の幼児に対し完全給食を実

施してまいります。保育環境の整備につきましては、第二保育所のプール改修や民間保育所の空調設備整備を支援するとともに、子ども発達センターの個別指導室を整備してまいります。

次に、「いきいき暮らせる高齢者福祉の推進」につきましては、「第二期吉川市老人保健福祉計画・介護保険事業計画」のスタートとなる本年度は、ともにふれあい、生きがいづくりの場となるよう吉川小学校に「高齢者ふれあい広場」を開設し、高齢者が元気で生きがいを持つことのできる事業の展開をはじめとして、介護予防事業やひとり暮らし高齢者などの自立支援事業を推進してまいります。次に、「みんなが支えあう障害者（児）福祉の推進」についてですが、障害者の自立意識の高まりとあいまって、障害者のニーズが多様化してきております。このようなかで、本年の四月から障害者の自己決定を尊重し、利用者本位のサービス提供を基本として、事業者との対等な関係に基づき障害者自らが契約によりサービスを利用する支援費制度が始まりますので、この制度の運用に遺漏のないよう努めてまいります。

次に、「生涯を通じた健康づくりの推進」につきましては、市民一人ひとりが健康でいきいきと暮

らせるために、各種健康教育をはじめ基本健康診査やがん検診などの事業を行い、生活習慣病の予防と改善に努めてまいります。また新たに基本健康診査の中で五十歳以上の男性を対象とした前立腺がん検査を実施し、早期発見・早期治療につなげてまいります。

## やすらぎとるおいのある快適なまちづくり — 生活環境

第三の柱は、「やすらぎとるおいのある快適なまちづくり」でございます。まず、「みどり豊かなまちづくり」についてですが、公園・緑地の整備など快適な生活空間を創出するため、公園不足地域の保地区において、現在借地している保3区・4区児童広場を身近な市民の街区公園とするため、用地を購入してまいります。また、土地区画整理事業の進捗に伴い、人口が増加しつつある吉川中央地区については、みどり豊かな潤いと安らぎのある良好な生活環境を確保するため、中央中学校の北側に街区公園を整備してまいります。

次に、「環境にやさしいまちづくり」についてですが、環境負荷の低減や資源の有効利用を図る循環型社会の構築に向けて、市民一人ひとりや事業者の各主体が、自主的かつ積極的に環境配慮に取り組む意識づくりが急務となっております。

## ● 市民一人当たりが負担する市税 ●

平成十五年三月一日現在の人口五八、九九三人で計算した市民一人当たりが負担する市税は、十一万五千六十八円となり、その内訳は次の通りです。

市民税	48,575円
固定資産税	59,963円
市たばこ税	5,746円
軽自動車税	784円

## 歳出

### ● 目的別歳出の内訳 ●

目的別歳出とは、予算が何のために使われているかを基準に歳出を分類したものです。

本年度の歳出予算総額は、百五十五億二千八百万円。教育費が前年度より三十三・二%、十一億五

